

学校長様  
英語ディベート担当教員様

一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟  
(HPDU of Japan)

## 第13回 高校生英語パラメンタリーディベート連盟新緑杯 西日本大会

### HPDU Spring Greenery Competition of West Japan 2024 実施要項

主催 一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟 (HPDU of Japan)  
後援 公益財団法人 日本英語検定協会 (Eiken Foundation of Japan)  
一般社団法人 日本英語交流連盟 (ESUJ: The English-Speaking Union of Japan)  
特別協賛 有限責任 あずさ監査法人 (KPMG AZSA LLC)  
協賛 iae グローバルジャパン株式会社 (iae GLOBAL JAPAN, Inc)  
株式会社トモノカイ (Tomonokai Co.,Ltd.)  
協力 エイムネクスト株式会社 (AIMNEXT Inc)

- 1 主旨 (1) パラメンタリーディベートを通して高校生の総合的英語運用能力を伸ばす。  
(2) 経験者が新人ディベーターを育成する機会の提供とする。  
(3) 様々な社会問題に興味関心を持つ態度を養う。  
(4) 高校教員のジャッジ養成の機会を提供する。
- 2 日時 2024年6月16日(日)  
※西日本大会上位2校は6月22日(土)開催の全国大会に推薦されます。
- 3 場所 Zoom (各自 Wi-Fi 環境が整っている場所をご用意ください。大会当日の連絡などにはLINE Openchat (登録等の詳細は追って連絡します) を使用します。参加選手および顧問の先生は予め Zoom のインストール等ご準備をお願いします)
- 4 試合形式 (1) 試合: ノースアメリカンスタイル

肯定側 Government Side	否定側 Opposition Side
① 5分	② 5分
③ 5分	④ 5分
⑥ 4分	⑤ 4分

1 チーム3名、準備時間は20分。

※詳細は15 ジャッジのガイドライン: Adjudication Guideline for Spring Greenery Competition 2023 (本要項 P.4) をご覧ください。

- (2) 4試合(2試合目以降はパワーペアリング) パワーペアリングを優先するため、肯定側と否定側のバランスが取れない場合があります。
- (3) 得点ポイントの高かったチーム、ベストディベーター、新人ベストディベーターを表彰。

## 5 参加資格

- (1) 日本に住所がある高校に在学している1学年から3学年までの生徒(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含みます)。ただし、後述の西日本大会ガイドラインに準拠しないかたちでの参加はできません。
- (2) 学校として新緑杯東日本大会、新緑杯西日本大会、新芽杯いずれか1つの大会に参加して頂くことになります。
- (3) 1チームにつき1名のジャッジの派遣の提供をお願いします。2～3チームを申し込みの場合は2名のジャッジ提供が必要となります。(どうしてもジャッジが提供できない場合、大会実行委員会の判断で、ジャッジ免除費(5,000円)を支払って頂き、ジャッジ提供を免除する場合があります。ただし、ジャッジ免除の制度を申請できるのは1チームエントリーの学校に限ります。複数チームのエントリーの学校はジャッジ提供が免除されることはありません。ジャッジ提供免除を申請する学校は9月問合わせ先までご連絡ください)
- (4) 生徒のみ(引率教員がいない)の参加は不可とします

<付記> 同日に新緑杯東日本大会、および新芽杯が行われることから、新緑杯西日本運営では以下のようにガイドラインを作成いたしました。不明な点があれば、9月問合わせ先に連絡ください。ただしお問い合わせは「顧問の先生」からお願いいたします。

### 西日本大会ガイドライン

- ①新緑杯東日本大会、新芽杯、西日本大会に同一の学校が同時にエントリーすることはできない。
- ②関東圏(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川)の学校が西日本大会に参加するのは不可とする(但し、特殊事情があれば考慮する。\*要問い合わせ)。
- ③地理的に東日本に位置しているが、東日本大会(対面)に参加が困難な学校が西日本大会(オンライン)に参加するのは可とする。
- ④西日本に所在する学校が東日本大会(対面)に参加することは可とする。

## 6 チーム構成

- (1) 1チームの登録人数は3人で、1校につき3チームまで登録が可能です。各チーム内には必ず新人ディベーターが1人は含まれていることが必要です。新人ディベーターとは、1年生、またはパラメンタリーディベートの公式大会(=要項が存在し、複数の高校が参加でき、賞の授与がある大会)に参加したことがない2、3年生を指します。
- (2) 同一校の生徒でのチーム参加とします。  
ただし、英会話スクールなど HPDU が認めた高等学校以外の団体は例外とします。

- 7 申 込 以下の URL の新緑杯参加登録フォームにアクセスして、参加申込みをお願いします。

<https://forms.gle/xxRip63746B1Cn536>

上記のアドレスを貼り付けて、フォームを開いてください。  
参加申込締め切り 令和6年5月31日(金)19時まで



- ※ 新緑杯東日本大会や新芽杯に参加する学校は、本大会(新緑杯西日本大会)にはお申し込みできませんので、ご注意ください。
- ※ 1チームの Debater は3人です。
- ※ 各学校から参加申込チーム数は最大で3チームまでとなります。ただしチーム数が予

定数を超えた場合、3チームを希望している学校から、過去の HPDU が主催した大会参加回数と成績を考慮しチーム数の調整をする場合があります。1つのフォームで3チームまで申し込みます。

※ ジャッジの派遣が必要となります。2～3チームを申し込みの場合は2名のジャッジ提供が必要となります。当日、確実にジャッジができる方をご登録ください。

## 8 参加費

1チームにつき3,000円となります。参加チーム数が確定してから参加費の振込みをお願い致します。振り込みは6月13日（火）まで。

振込先口座名義：日本高校生パラメンタリーディベート連盟九州（ニホンコウコウセイパーメンタリーディベートキュウシュウ）

振込先銀行：福岡銀行 西新町支店

普通預金 口座番号 2667892

5月31日（金）	参加申し込み締め切り
6月5日（水）頃	チーム数の確定をメールで連絡
6月13日（火）	参加費振り込みの締め切り

## 9 問い合わせ先 福井県立藤島高等学校 教諭 三仙 真也（さんぜんしんや）

e-mail: fujishima3000@gmail.com

（件名に「新緑杯西日本問い合わせ（苗字名前）」と記載いただけますと幸いです）

## 10 日程 ※新緑杯東日本大会と日程が異なりますので、ご注意ください

8:00～8:15	受付
8:15～8:35	開会式
8:35～8:45	第1試合 対戦表、論題発表
8:45～10:15	準備（20分間）、試合
10:30～10:40	第2試合 対戦表、論題発表
10:40～12:10	準備（20分間）、試合
12:10～12:40	昼食
12:40～12:50	第3試合 対戦表、論題発表
12:50～14:20	準備（20分間）、試合
14:35～14:45	第4試合 対戦表、論題発表
14:45～16:15	準備（20分間）、試合
16:20～	表彰・閉会式

※予定は変更される可能性があります

## 11 各スピーチの採点方法

本年度の大会では、個人得点は、以下の基準に基づいて与えられます。派遣ジャッジの方は大会前に把握しておいてください。

その試合全体の質、また最終的な勝敗を決めるにあたって、貢献度の高かった順に1位～6位を割り振ります

- (1) 各試合でのスピーカーの順位を、得点に変換して個人得点とします。  
1位⇒6点 2位⇒5点 3位⇒4点 4位⇒3点 5位⇒2点 6位⇒1点
- (2) 同じ順位を複数名に与えることはありません。
- (3) 今回は貢献の度合いによる順位になりますので、個人得点のチーム総点は、勝利チームの方を必ず高くします。（つまり「low-winを認めない」ということです）。  
<順位の例> 勝ち Gov [1人目] 2位 [2人目] 3位 [3人目] 4位 12点  
負け Opp [1人目] 1位 [2人目] 5位 [3人目] 6位 9点
- (4) 順位を決めるにあたって、複数名の選手の優劣を決め難い場合、この要項末に例年

の新緑杯の個人スコアのつけ方を掲載してありますので、参考にしてください。

## 12 表彰に関して

- (1) チーム成績は、試合の勝ち数、個人得点の合計の順の合計点で決定します。
- (2) 個人成績は、個人得点の累計で出します。
- (3) 表彰などで順位を確定させる必要がある場合、勝ち数が同じ、そして個人得点の総点と同じチームがあった際は、以下の様にして最終的な順位を決定します。
  - ・ 予選4試合のそれぞれが対戦した相手チームの勝数の合計
  - ・ 上記の合計が同じ場合は、それぞれが対戦した相手チームの個人得点の合計
- (4) 新人ベストディベーター賞は、新人ディベーターのうち高い個人成績を残した人に授与されます。ベストディベーター賞は、全参加者のうち高い個人成績を残した人に授与されます

## 13 注意事項

- (1) ディベーターは準備時間内に試合に参加しているメンバー以外と相談することはできません。
- (2) ディベーターは準備時間内そして試合中に、電子辞書を除いた電子機器（例 インターネット接続機能を持ったタブレット・コンピューター等）を使用することはできません。
- (4) ディベーターは準備時間内そして試合中に、書籍など、辞書以外の紙媒体の資料を閲覧することはできませんが、自作の資料ノートやコピーをファイルしたもの、フォーマットが書かれたプリントの使用は許されています。
- (5) **Point of Order**（試合中に対戦相手のルール違反を指摘する行為）は禁止します。ルール違反があった場合、ジャッジが判断をするものとします。試合進行上支障をきたすルール違反があった場合、ジャッジが適切な処置をします。
- (6) **Constructive Speech** に対して **Point of Information (POI)** を行う場合「**Point**」「**Point of Information**」といった表現で POI による発言の許可をスピーカーに求めてください。7分間の最初と最後の1分間は POI 不可。POI により発言を許可された者は、15 秒間だけ発言を許されます。**Reply Speech** に対しては POI 不可。
- (7) 相手チームの顧問の承諾なしに、試合を録音、撮影、録画することは禁止です。
- (8) HPDU の記録担当が撮影したものに関しては、後日、HPDU のホームページ、後援・共催・協力団体への報告書、HPDU についての説明会や講演等で使用することがあります。ご了承ください。
- (9) 急な発熱などにより選手を変更せざるをえない場合は、大会前日の19時までに連絡してください。代替りの選手が見つからず、2名以下での参加となってしまった場合は、個人賞の対象にはなりますが、チーム賞の対象にはなりません。

## 15 ジャッジのガイドライン：

### Adjudication Guideline for Spring Greenery Competition 2024

#### Rules of the Competition

This competition is held under the North American style of debating, with minor modifications as explained below.

#### [The format of the debate]

The debate will consist of two teams of three persons, and an adjudicator. Constructive speakers will deliver a speech of 5 to 7 minutes duration and reply speakers should deliver a speech of four minutes duration.

#### [Preparation]

The debate should commence 20 minutes after the motion is announced. Debaters are not allowed to use printed or written material during preparation and during the debate. Printed material includes books, journals, newspapers and other similar materials. The use of electronic

equipment, except for electronic dictionaries (Denshi Jisho), is prohibited during preparation and in the debate.

[Points of information]

Points of information (questions directed to the debater speaking) may be asked between first minute mark and six-minute mark of the constructive speeches (constructive speeches are of five to seven minutes duration). No points of information are allowed during the reply speeches.

## 1. The Tasks of Adjudicators

The primary task of adjudicators is to determine as objectively as possible which team better succeeded the process of persuasion by delivering the argumentation.

At the conclusion of the debate, adjudicators should fill in the evaluation form. Then, adjudicators are to provide debaters their decision as well as the reasons for it verbally. Also, the adjudicator should provide advice on further improvements for each debater.

## 2. Evaluation Categories

Adjudicators should evaluate each speech based on four categories: Matter, Manner, Speaker Roles, and the use of Point of Information (POI). Adjudications will rank debaters from first place to last place. The rankings should be given based on the debaters' contribution in winning the round and to the overall quality of the debate.

Because debaters will be given rankings instead of individual speaker scores, there is no regulation on low score win and tie in the competition.

### 2.1. Matter

Matter means the contents of the speech. It is the arguments the speaker uses to persuade the audience. In other words, Matter is the assessment on what each speaker delivers in his or her speech.

Adjudicators must consider the following elements in assessing Matter of the speech:

- (a) Reasoning
  - Did the speaker develop arguments with careful explanation?
  - Did the speaker avoid assertions, logical flaw?
- (b) Elaboration
  - Did the speaker show his or her deep understanding of the topic by providing relevant information?
- (c) Response
  - Did the speaker appropriately respond to the arguments and refutation made by the other team?

It should be noted that the response for Prime Minister is evaluated based on his or her willingness to offer and take POI.

### 2.2. Manner

Manner means the way debaters present their speeches, focusing on speech structures and styles. In other words, Manner is the assessment on how each speaker delivers his or her speech.

Adjudicators must consider the following elements in assessing Manner of the speech:

- (a) Time Management
  - Did they avoid speaking over the time limit or ending the speech long before the time limit?
- (b) Structure
  - Did the speaker clearly order his or her speech so that the audience could follow it easily?

(c) Speech Delivery

- It should be noted that there is no evaluation for the speakers' proficiency in English pronunciation. If the speech is less intelligible due to an issue with pronunciation, it is assumed that the speakers' matter is compromised accordingly.

### 2.3. Role fulfillment

Speakers are expected to fulfill the duties assigned to the speaker roles (e.g. Prime Minister) as follows.

(a) Prime Minister

- Was the definition explained clearly?
- Was a team line explained clearly?
- Was the team allocation provided clearly?

(b) Leader of the Opposition

- Did the speaker clearly respond to the definition provided by the Prime Minister?
- Did the speaker give a team line?
- Was the team allocation provided clearly?

(c) Members

- Did the speaker confirm the team line provided by his or her partner?
- Did the speaker sufficiently explain the new argument(s) allocated by his or her partner?
- Did the speaker provide further support (i.e. new elaboration or additional reasoning) to the argument provided by his or her partner?

(d) Reply Speakers

- Did the speaker summarize the round focusing on key issues, questions, or crash points?
- (In case of Prime Minister Reply) Did the speaker respond to the new argument given by the Member of the Opposition?

\* Note that the role fulfillment of reply speakers is evaluated in the category "Key Issues".

### 2.4. Use of P.O.I.

- Did the speaker actively participate in the debate by raising P.O.I. to weaken the other team's arguments, or strengthen that of his or her own?
- Did the speaker immediately and confidently handle the P.O.I. offered by the other team?

### 3. How to Decide the Winning Team

It should be noted that only what the debaters have said, or Matter should influence the result.

In this competition, it is recommended that adjudicators follow the following procedures to reach their decisions.

(a) [Argument] Which team presented the most persuasive argument?

If one team provided far superior arguments to the other, the team should win the round.

(b) [Refutation and Reconstruction] Which team's responses were superior?

If the quality of overall arguments is found equal, then the adjudicator should look into the refutation and reconstruction attempted in the round. If adjudicators find any impressive responses that influenced the flow of the round, the team which provided them should win the round.

(c) [Elaboration] Which team provided the best elaboration?

If the quality of the overall arguments and their responses to the other team are found equal, then the adjudicator should look into the elements of the arguments. If adjudicators find any impressive example or other elaboration that significantly contributed to the quality of the round, the team which presented it should win the round.

(d) [Manner & POI] Which teams' speech manner was superior?

When and only when the adjudicator cannot decide the winning team based on the quality of overall argument, responses, and elaboration, he or she can look into the elements of Manner. However, to reach a decision based on manner is assumed to be an emergency measure only allowed to avoid the deadlock that would seriously hamper the management of the competition.

#### 4. Speaker Scale

Debaters in a round should be ranked from first place to last place. First place speakers should be awarded six points, second place speakers should be awarded five points, third placed speakers should be awarded four points, fourth speakers three points, fifth speakers two points, and the sixth speakers one point.

The rankings should be given based on the debaters' contribution in winning the round and to the overall quality of the debate.

◆【参考】例年の新緑杯 個人スコアの付け方 (対面方式の大会で使用)

以下は例年の新緑杯での個人得点のつけ方の細則です。試合で同じ順位になってしまった選手がいた場合、以下の基準を参考にして順位の上下を決めてください

(注: 以下の採点基準は、英会話の授業でのスピーキングテストの採点基準を模して作られました。初心者を出るだけ客観的に採点するために、あえて機械的にスコアを出せるようになっていきます。他の英語ディベートの大会では、このような細かい採点の指示はありません。まずはMatter以外の項目がほぼ満点になるように練習をさせてください)

・各チームの合計点を出して、その合計が高かった方を勝ちにする、という勝敗の決め方は認められません。また勝敗自体は、それぞれ以下に説明がある、話し方(manner)ではなく話した内容(matter)で決めてください。

### 【Constructive Speech に関して】

#### I. 話し方に関して (Manner) ※勝敗の決定は Manner よりも Matter を優先させる。

##### 1) スピーチ時間 (Time Management) [1 or 0 point]

- ・スピーチ時間は、Constructive Speech は 5~7 分です。
- ・スピーチ時間の過不足が、30 秒以内であれば 1 点、それを超えた場合は 0 点となります。

##### 2) 議論の構成 (Structure) [1 or 0 point]

- ・以下の 3 点がスピーチを通じて満たされている場合 1 点、いずれかに問題があった場合 0 点となります：
  - a) 分かりやすいサインポストを明確に示した。
  - b) 議論の構成がわかりやすい (例えば、現状分析、問題解決の仕組み、重要性など小項目に分けて説明していた場合など)。
  - c) 相手チームへの応対 (反論そして議論の立て直し) において、相手のどの発言に対して応答しているのか明確であった。

##### 3) スピーチの仕方 (Delivery) [3 ~ 0 point(s)]

- ・以下の 4 点がスピーチを通じて満たされている場 3 点となります。1 箇所の項目に問題がある場合、1 点ずつ減点します。3 箇所以上に問題がある場合、0 点となります。：
  - a) 効果的なアイコンタクトの使用 ※オンラインの場合はカメラ目線。
  - b) 聞きやすさ(十分な声の大きさ、速さ、強弱)
  - c) 効果的なジェスチャーの使用
    - d) 表情による効果的な表現

## II. スピーチ内容に関して (Matter)※勝敗の決定は Manner よりも Matter を優先させる。

### 1) 論証の内容 (Reasoning) [ 2 ~ 0 point(s) ]

- ・ 納得のいく論証がスピーチを通じて述べられていた場合、2 点
- ・ 理解はできるが疑問の余地のある論証が述べられた場合、1 点
- ・ 明確に論証に問題がある場合、または論証が欠落している場合、0 点

### 2) 議論の具体化 (Elaboration) [ 2 ~ 0 point(s) ]

- ・ 2 つ以上、議論を効果的に根拠づける良い具体例や具体的な描写を示した場合、2 点。
  - ・ 1 つ示された場合、1 点。
  - ・ 1 つも示されなかった場合、0 点。

### 3) 相手のスピーチへの応答 (Response) [ 2 ~ 0 point(s) ]

- ・ 相手からの反論にすべて、効果的な議論の立て直し(Reconstruction)を行い、また相手チームの議論に対して効果的に反論を行った場合、2 点。
- ・ 相手のチームへの応答は行ったが、反論または議論の立て直しのいずれかにおいて、1 つの内容が不十分であった場合、1 点
- ・ 反論または立て直しのいずれかをまったく行わなかったか、2 つ以上反論または議論の立て直しが不十分であった場合、0 点。
- ・ PM は、積極的に POI を行ったかでの項目を判断します(POI を取って貰えたか、POI の中身自体が良い物であったかについては考慮しません)

## III. スピーカーの役割 (Speaker's Role)

それぞれのスピーカーに特有の 3 つの役割に関して、それぞれ果たされていた場合 1 点ずつ加点します。

### 1) Prime Minister

- ・ 論題の定義が明確に示されていたか。
- ・ チームライン (チームとしての主張を簡潔にまとめた 1 文、必ずしもチームラインという用語を使わなくても良い) を明確に示したか。
- ・ サインポストを提示して議論の役割分担 (team allocation) が明確に示されたか。

### 2) Leader of the Opposition

- ・ Prime Minister から提示された定義に明確に回答していたか (定義を受け入れるが反対の立場をとる、といった事を明確に述べたか)。
- ・ チームラインを明確に示したか。
- ・ サインポストを提示して議論の役割分担 (team allocation) が明確に示されたか。

### 3) Member of the Government & Member of the Opposition

- ・ パートナーの提示した team line を確認したか (繰り返し述べるだけで十分)。
- ・ パートナーの提示した議論に対して、追加の説明 (新しい具体例、追加の論証の説明) を行ったか。
- ・ 分担された議論を十分に説明したか。

## 【Reply Speech に関して】



1) スピーチ時間 (Time Management) [ 1 or 0 point ]

- ・スピーチ時間は、Reply Speech は 3～4 分です。
- ・スピーチ時間の過不足が、30 秒以内であれば 1 点、それを超えた場合は 0 点となります。

2) スピーチの構成 [0 or 1 point ]

- ・これから何を説明するか冒頭で説明した場合、1 点。その説明がない場合や、分かりにくい場合は 0 点。

3) スピーチの仕方 (Delivery) [ 3 ～ 0 point(s) ]

- ・立論スピーチでの評価基準と同じです。

4) 試合の争点 (Key Issues) [ 2 ～ 0 point(s) ]

- ・試合全体を、Key issues, Clash points, Key Questions といった新しい観点で効果的に総括した場合、2 点。
- ・試合全体を新しい観点で総括したが、観点の選択が効果的ではないか、いずれか 1 つの観点による説明が不十分であった場合、1 点
- ・新しい観点に立った総括をしなかった場合か、観点における説明が 2 つ以上不十分であった場合、0 点。

5) 具体化 (Elaboration) [ 1 or 0 point ]

- ・議論を効果的に根拠づける良い具体例や具体的な描写を示した場合、1 点。
- ・1 つも示されなかった場合、0 点。

4) Point of Information に関して

a) POI を求めることに関して

- ・各スピーカーは、相手チームのそれぞれのスピーチにおいて、2 回以上 POI に立つことが求められます。

b) POI を取ることに関して

各スピーカーは、自分のスピーチにおいて、POI を 2 回程度取ることが期待されます。

\* 「POI を何回していなければ減点」というような基準は設けません。